

調査の目的

民間PHRサービスの適切かつ円滑な普及展開に向けて、医療現場における**ライフログを含むPHRサービスの利活用状況や留意すべき事項**について、**医師を対象としたヒアリング調査**を実施し、今後、PHRサービスの安全性・有効性の確保に係る検討（事業者団体における論点整理等）に役立てる。

ヒアリング調査の概要

①実施主体・実施者

実施主体は、総務省。実施者は、総務省から業務を請負った株式会社NTTデータ経営研究所。

②調査対象

PHR・ライフログへの知見を有する医師（約20名）：病院医、診療所、産業医、研究機関等

③調査期間

令和3年12月～令和4年1月（予定）

④調査項目

- PHR、ライフログの利活用経験の有無
- 利活用の実態（利活用情報、サービスの形態・内容、利活用理由、患者の反応等）
- 今後の意向（利活用場面・情報、要求する精度等）
- 利活用時の課題（情報の精度・安全性、運営上の課題、セキュリティ等）

調査結果の取扱い

調査結果は、民間利活用作業班報告書に盛り込むとともに、総務省ホームページにて公表する。